

2026 年度三重大学大学院人文社会科学研究所（修士課程）入学試験問題

試験科目〔専門科目：科目名 考古学〕

問題1 考古学における型式論について、その方法の概要を述べなさい。また、方法の問題点と、それを補うために考えられる方法についても触れなさい。解答用紙 1/2 に記入すること。(15 点)

問題2 以下の語群 1-3 の内、各 1 つを選択して選択した単語を冒頭に書き、その内容について説明をしなさい。解答用紙 1/2 に記入すること。(各 5 点 計 15 点)

語群 1 : Gustaf Oscar Augustin Montelius/ Vere Gordon Childe/浜田耕作/山内清男/小林行雄

語群 2 : 陸平貝塚/朝日遺跡/箸墓古墳/逢鹿瀬寺/名護屋城

語群 3 : 瀬戸内技法/S 字状口縁台付甕/尾張型円筒埴輪/灰釉陶器/羽釜

問題3 別に渡す土器を実測し、種類・器種・年代・調整手法について記しなさい。すべて実測用方眼紙に記入すること。方眼紙は作業用と合わせて 2 枚配布するが、提出は図と記載をおこなった 1 枚を提出すること。  
(20 点)

問題1 : 大学院での研究にあたり必須の考古学の基礎的な方法論の理解について論述できるかを問う。

問題2 : 考古学の基礎的な知識を問う。研究史で著名な研究者、時代を代表する遺跡、遺物の知識を問う。

問題3 : 研究に必要な資料の観察と得た情報の可視化の技術を問う。